



お経の意味①

当寺においては、通夜・葬儀・法事などの際に様々なお経をお唱えしています。ただ、お経の多くが漢文や陀羅尼（インドの言葉を似た音を持つ漢字に当てはめたもの）のため、聞いただけではなかなかその意味を理解することはできません。これから、複数回にわたり、当寺においてお唱えしているお経の意味を解説して参ります。ご一緒に学びましょう。

【摩訶般若波羅蜜多心経（般若心経）】

法事、三仏忌（降誕会、成道会、涅槃会）、彼岸、大般若祈禱の際に主にお唱えしています。このお経には、お釈迦さま、観音さま、舍利弗（お釈迦様の弟子）さまが登場し、「お釈迦さまの教えの基本」を確認した上で、「空」（この世界の全ての物事には実体がない）という智慧が説かれています。前期の真言部分（羯諦以下）は唱えるだけで苦悩や迷いを取り除き、魔を払う力があるといわれ、特に重要とされてきました。なお、「西遊記」のモデルとして知られる唐の玄奘三蔵（六〇二〜六六四）の訳とされています。

並ぶものなき真言。一切の苦しみを除く空しからざる真実語。ここに示した階梯を学び、思惟し、瞑想して、人は智慧の完成に到るであります。その真言に曰く、『行きましよう、行きましよう、とらわれ無き世界へ。素晴らしい所へ一人残らず。悟りよ万歳』とらわれなき智慧の心の経を終わる。

【原文】

観自在菩薩行深般若波羅蜜多時。照見五蘊皆空。度一切苦厄。舍利子。色不異空。空不異色。色即是空。空即是色。受想行識亦復如是。舍利子。是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。是故空中。無色無受。想行識。無眼耳鼻舌身意。無色声香味触法。無眼界。乃至無意識界。無無明。亦無無明尽。乃至無老死。亦無老死尽。無苦集滅道。無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵。依般若波羅蜜多故。心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。遠離一切顛倒夢想。究竟涅槃。三世諸佛。依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。故知。般若波羅蜜多。是大神呪。是大明呪。是無上呪。是無等等呪。能除一切苦。真實不虛故。說般若波羅蜜多呪。即說呪曰。羯諦。羯諦。波羅羯諦。波羅羯諦。菩提薩埵訶。般若心經。

【現代語訳】

観自在菩薩が、般若の智慧の完成に到る瞑想にいそしんでいる時、あらゆるものは空であると見通した。すると、身も心も、つまり自分とはいかなるものかを探求するためにお釈迦様が説かれた五蘊も空なのだと分かり、一切の苦しみが消えた。

そこで舍利弗尊者に、その瞑想で見抜いた境地をこう伝えた。「この身体も含め形あるものが、どのように生じ、存在しているのかを探求すれば、それ自身で生まれ出たわけではなく、他の原因と条件により生じ、絶えず移ろいゆく、空に他ならない。また、空なるものの在り方により、形あるものは存在せしめられている。だから、形あるものは空であり、空だからこそ形あるものは存在できるのです。同様に感受・イメージ・意志・認識などの心の働きも、みな空なのです。空という究極のものに在り方を見る心には、それらが実体あるものとして見えなくなることはない。だから生ぜず滅せず、浄もなく不浄もなく、増えることもなく減することもありません。

この故に、すべてのものを空と見抜いた境地にあつては、形あるものも、感受・イメージ・意志・認識など心の働きも固有の実体あるものとして捉えることはない。同様に、身近な周りとの分析から、この世界を把握

ご案内

大安寺公式ホームページ・フェイスブックページのご案内

平成二十一年に開設した「大安寺公式ホームページ」をプッチリリニューアルいたしました。以前は、スマートフォンやタブレット端末でアクセスした場合、文字が小さく、また、メニューボタンが使いづらかったのですが、より文字が大きく表示され、また、メニューボタンの操作性が向上しました。フェイスブックページと併せ、是非ご覧ください。



公式 facebook ページ



公式ホームページ

する手立てとして説かれた六つの感覚器官（眼・耳・鼻・舌・身・意）も、それらに捉えられる六つの対象も、またそれらが触れることでその対象を理解識別する六つの心も、それらを固有の実体あるものとして見ることがない。さらには、六道輪廻の世界に生死を繰り返す苦しむ私たちの、その因果を説く十二の因縁も、その逆の過程によって悟りに到る十二の因縁も、それぞれそれらの固有の実体は存在しない。そして、人々を悟りの道へ導く四つの聖なる真実、つまり現実を直視してその因果を見きわめ、私たちの生きる目標とは何か、どう生きればよいかを明らかにした教えさえも、空を直接的に体験している心にはあてはまらない。さらにそれらの実践による智慧も、それを獲得することもありません。いかなるものも実体あるものとして捉えることがない、すなわち言葉による概念の世界をも越えているので、菩薩は智慧の完成に導く瞑想を成就し、心（意）に妨げなく、恐れがない。迷いを生じることもなく、最高の悟りに安らいでいる。過去現在未来の諸仏もこの般若の智慧の完成に到る瞑想によって、無上なる最高の正しい悟りを獲得したと言われるのです。

その故に智慧の完成は大いなる真言なのです。大いなる智慧の真言、無上なる真言、

行事報告

令和二年度 大安寺花まつり

五月八日（金）、お天気に恵まれ、また境内で桜や桃の花が今を盛りと咲く中、恒例の大安寺花まつりを開催しました。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、甘茶をかけたのお参りと甘茶のふるまい、降誕会法要のみの開催とさせていただきます。来年度はコロナ禍が収束し、以前と同様、賑やかに開催できることを願っています。

